

社協だより

October 2021 No.108

Beside you

...あなたのそばに...

CONTENTS

P 2 特集
赤い羽根共同募金で地域を良くしよう

P 5 地域掲示板

P 6 ボランティアだより

P 8 お知らせ・行事報告

P 10 社協事業

P 12 おおつきで頑張る若者

表紙写真：初狩町丸田地区の公園

(関連記事P 5をご覧ください。)



社会福祉法人
大月市社会福祉協議会

「あなたの募金が誰かを支える力になります。」

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします！

今年度も10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金が始まります。

今年の大月市の目標額は**5,814,000円**

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに地域福祉を目的として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、各種活動への支援をしています。

昨今のコロナ禍により、これまでの生活様式と大きく変わってしまいました。自粛生活が長引く中で孤独・孤立の問題や困窮世帯の増加など、様々な地域課題が出てきます。共同募金はこうした課題にも対応できるよう、新たな取り組みを展開していくための資金としても活用されています。

皆様からの募金が、誰でも住みやすい、より良い大月を創る第一歩となります。



▲ふれあい・いきいきサロン（一部に赤い羽根共同募金が活用されています）

「赤い羽根共同募金」を理解しよう！

●赤い羽根共同募金とは？

日本では戦後の社会的・経済的な混乱を解決する手段の一つとして民間で行われていた募金活動を制度化したものです。現在では「じぶんの住んでいる町をよくするため」「障がいのある人や高齢者など助けが必要な人のため」「災害時の備えのため」などを目的として都道府県に共同募金会が設立され、募金活動を展開しています。山梨県では山梨県共同募金会が主体となり大月市は支会として実施しています。

●運動期間は？

毎年、厚生労働大臣の告示によって募金期間が決まっています。今年度は10月1日から3月31日までとなっています。また、12月中は歳末たすけあい募金もあわせて行っています。

●なんで赤い羽根なの？

もともと赤い羽根はヨーロッパやアメリカで、正義や勇気のしるしとして使われていました。共同募金のシンボルとして最初に使ったのは、アメリカです。そこにヒントを得て、日本では昭和23年から使われるようになりまし。今では「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」のシンボルとなっています。



●どうして目標額があるの？

赤い羽根共同募金は寄せられた募金を助成先などに単純に配分しているわけではありませ。地域福祉を進めるために、どれくらい募金が集まれば必要な事業を行うことができるかあらかじめ計画を立て、それに基づいて目標額を設定し、募金活動を行います。そのため、目標額は、最小限度の必要額となります。

●募金は何に使われているの？

寄せられた募金は山梨県共同募金会で取りまとめられ、約7割が大月市に配分されます。残りの3割は山梨県内にある福祉活動や社会福祉施設（大月市内の施設を含む）などに使われます。また、災害時の義援金などにも使われています。

昨年度、大月市では5,545,688円の募金が寄せられました。その内3,936,000円が今年度配分されました。

大月市で使われているものは…

○各地区の老人憩いの家等の備品整備や修繕費の助成事業

各地区にある老人憩いの家で快適に過ごせるように、備品や修繕等を地区社協より申請していただき、助成を行っています。



▲エアコン整備



▲畳表替え

地域掲示板

初狩町丸田地区の公園に遊具が設置されました！

令和3年4月に初狩町丸田地区の公園に、6台の遊具が設置されました。表紙の写真の遊具に見覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

そうです。今年の3月末までふたば保育園の園庭で使用されていた遊具です。

ふたば保育園の閉園に伴い、廃棄処分する予定だったのですが、丸田地区の自治会より、「廃棄するのであれば譲ってほしい」とのお声があり、当会としても有効活用していただけたのであればと、譲渡することといたしました。

遊具の設置後は、「丸田

にアンパンマンの公園ができた」と噂が噂を呼び、丸田地区の子どもはもちろん、他の地域からもたくさんの子どもが遊びに来て賑わっているそうです。

廃棄される予定だった遊具が再利用され、何もなかった公園が生まれ変わり、新たなコミュニケーションの場ができたことうれしさを感じます。

また、丸田地区自治会では、年2回の遊具の点検・修理を実施し、安全管理対策にも十分注意しているそうです。



○ふれあいいきいきサロンへの助成事業
市内の高齢者の憩いの場、集いの場として開催しているふれあいいきいきサロンの活動費の助成をしています（写真2頁）。

○地区社協活動推進事業

各地区社協が行っている一人暮らし高齢者の交流事業や、小学生との交流事業など、地域福祉推進のための事業などに助成しています。

○地元愛醸成プロジェクト協力校事業

福祉教育の一環として市内の児童、生徒が自分の住む地域に愛着・心を持ち、地域との関わりに関心を持って行動する力を養う学習を行っている小中学校等へ助成しています。

○その他

社協だより発行事業
ボランティア団体等育成事業
ファーストスプーン事業

などに使われています。

配分先の皆さんの声

●サロン代表者

「毎月1回開催して参加者と楽しく活動しています。最近ではコロナの影響で活動はできていませんが、状況に応じて参加者の自宅をお菓子などを持って訪問しています。訪問すると参加者の元気な姿が見られて安心しています。助成金はサロンの運営の為に使わせて頂いています。」

●区長

「地域の公民館にはエアコンがありませんでした。近年は猛暑日が多く、集まった方々の体を心配していましたが、この助成金を活用してエアコンを導入したことで暑い時

でも快適に過ごすことができるようになりました。」

●学校関係者

「農作業を含め地域の見学・実習等、それら学習を地域の方々に教わるなど、ふれあいを通し「ふるさと大月」の文化や、地域を愛する気持ちを芽生えさせることができる良い機会となっています。また、障がい者の講話や、体験・交流などの福祉教育をさせていただき、取り組みを行うことで、将来の職業への関心を抱くきっかけともなっています。」

皆様へ・・・

共同募金大月市支会では、今後も「大月市をよくするしくみ」として、コロナ禍により希薄化してしまった地域でのつながりの強化や、支援の必要な方への適切な支援などに寄せられた貴重な募金を、適切に利用させていただきます。「笑顔の絶えない大月」「誰でも安心して住める大月」「住んで良かったと思える大月」を目指してまいります。

赤い羽根共同募金は、誰でも気軽にできるボランティア活動です。ぜひ、ご協力をお願いします。

- ペットボトルキャップ・アルミ缶など 収集物の受け入れ中止について -

社協だより7月号掲載、また6月から物品をお持ちいただいた方々お一人ずつにご説明させていただきましたが、今般の新型コロナウイルスにおける感染拡大予防のため、8月から収集を停止しています。

皆さまには、なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

なお、停止期間については新型コロナウイルスが収束するまで当面の間とし、回収再開の際は社協だよりにてご連絡させていただきます。

停止物品：ペットボトルキャップ、古切手、アルミ缶、プルタブ、牛乳パック、ベルマーク等

大月市社協に集められた収集物の行き先

○ペットボトルキャップは・・・

大月市社協（福祉センター）にお持ちいただいたキャップは、上野原市のリサイクル業者に持っていく、「NPO法人エコキャップ推進協会」さん（神奈川県横浜市）に運ばれます。こちらには、2011年からキャップを受領していただき、2021年8月末現在、約5,169,690個、およそ12,023kgをおさめました。

この合計のキャップを、ゴミとして償却した場合の二酸化炭素の発生量は、37,950kgになるのだそうです。（キャップ1kgで約3.15kgの二酸化炭素が発生します。二酸化炭素1kg＝人間が1日に吐き出す二酸化炭素排出量と同じくらいです。）

・キャップの行き先

エコキャップ推進協会では提供いただいたキャップを、再生プラスチック原料として業者に買い取っていただくことで、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育などの社会貢献活動にあてられています。

また現在では障がい者施設と連携して、キャップの集荷搬送、キャップの分別、異物除去、破碎作業などの継続的な仕事を障がい者・高齢者雇用創出として推進されています。

詳しくは「エコキャップ推進協会」ホームページをご覧ください。

○古切手、ベルマークは・・・
勝沼にある、社会福祉法人ぶどうの里、「勝沼授産園」さんにお持ちしています。
勝沼授産園さんでは療育と働くことをキーワードに活動されています。こちらでは古切手、ベルマーク、リサイクル品などの仕分け作業にしています。

○アルミ缶・プルタブは・・・
都留市の鉄スクラップ業者さんにお持ちしています。アルミなどの単価は時価で変わりますが、換金し市社協の地域福祉活動事業に役立てられています。

○牛乳パックは・・・
市内の障がい者福祉施設に回収していただき、それを通してリサイクルされています。また回収を通して障がい者の就労支援に役立っています。



ありがとうございます ご寄付と収集ボランティア活動の報告

●物品につきましては、令和3年7月センター着の受取分まで

なお、それ以降のお名前はうかがっていませんので、ご承知ください。

●寄附金

三枝重夫 50,000円／匿名 6,800円／白井温工 100,000円（敬称略）

●ペットボトルキャップなど

吉角務／山咲陽子／葛野サロンすずらの会／駒米秀悦／萩原勤作／下真木ふれあいサロン／中日本施設管理(株)／鮎沢愛／幡野笑子

大月市ボランティアセンター
(大月市社会福祉協議会内)
大月町花咲10
(大月市総合福祉センター)
電話:0554-23-2001

ツキフェス21・福祉バザーの開催中止について

大月市社協における秋の三大事業のうちの、ツキフェス21並びにふれあい福祉バザーにつきましては、新型コロナウイルス感染の防止対策を講じて実施することが出来るかどうか検討しましたが、密を避けることが困難であることなどの理由から、大変残念ではありますが、本年度も開催を中止することといたしました。

また、来年度、開催の際には、多くの皆様のご参加とご協力を宜しくお願いいたします。



第46回大月市地域福祉推進大会の開催について

地域福祉推進大会は、11月19日(金)に大月市総合福祉センター6階多目的ホールにて、表彰のみを実施します。

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民会館大ホールに多くの皆様のご参加を頂いての開催を断念し、大幅に縮小しての開催といたします。

本年度の大会は、大変残念ですが、表彰者のみの参加とさせていただきます。来年度こそ、市民会館の大ホールで実施できることを願っています。



▲昨年度の表彰式

社協行事の報告

令和3年度大月市老人クラブ連合会

「ゲートボール大会」を開催しました！

令和3年度大月市老人クラブ連合会(畠山哲会長)は、7月15日(木)に山梨2021年いきいきねんりんピックゲートボール大会の出場権をかけて、旧梁川中学校校庭のゲートボール競技場にて、市内単位老人クラブ9チームの参加をいただき大会を実施しました。

コロナ禍ではありますが、関係者はマスクや消毒など感染予防対策をしながら、久しぶりの競技を楽しんでいました。最高齢者95歳の方もお元気に試合に参加されました。

また、大会の1位並びに2位のチームは、ねんりんピックゲートボール大会出場予定でしたが、残念ながら中止となりました。

・結果

- 1位 梁川チーム
- 2位 宮谷Aチーム
- 3位 畑倉チーム・林チーム



▲90歳以上の選手の表彰



家族介護者教室

に参加してみませんか？

家族介護者教室は、大月市内の在宅で、寝たきり及び認知症等の高齢者を介護しているご家族を対象に、介護の知識・技術の習得や、情報交換、介護者の心身のリフレッシュを図ることを目的に開催しています。

参加者の声

・いろいろな講義が聞いて勉強になり、自分自身の介護予防にもなっている。同じ仲間たちの体験談も聞けて、介護に役立てることができるし、悩みを話せることで少し気持ちが楽になる。
 ・コロナ禍どこにも出かけられず、家に引きこもりがちになっているが、月一度のこの会に参加することでみんなと会ってお話しできることが楽しみ。



家族介護者教室では、同じ悩みをお持ちの方たちの集まりです。介護者同士の交流、情報交換の場としても活用していただき、日頃の悩みの解決につなげていただければと思います。ぜひ、お気軽に参加してください。
 ※新型コロナウイルス感染症予防対策を実施して開催しています。
 人数制限もありますので、参加を希望される方は必ず事前にお申し込みください。

生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金） 特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活に困窮する方へ

山梨県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で生活資金にお困りの方々に向けた、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を実施しています。申込受付は11月末までです。お困りの方は、大月市社協へご相談ください。

○緊急小口資金（主に休業された方向け）

- ・対象者 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生活維持のための貸付を必要とする世帯
- ・貸付額 20万円以内
- ・償還 据置期間…貸付日から1年以内
償還期間…据置期間経過後2年以内
- ・貸付利子…無利子

○総合支援資金（主に失業された方向け）

- ・対象者 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯
- ・貸付額 2人以上世帯…月額20万円以内
単身世帯…月額15万円以内
- ・償還 ※貸付期間3カ月以内
据置期間…貸付日から1年以内
償還期間…据置期間経過後10年以内
- ・貸付利子…無利子

生活困窮者自立支援事業

生活やお仕事のことなどでお困りの方 ひとりで抱えこまず、まずはご相談ください。

大月市社協では平成31年度から生活困窮者自立支援事業を大月市より受託しています。また、今年度より就労準備支援事業と家計改善支援事業も新たに受託し、更なるサポートを充実させています。

生活困窮者自立支援事業とは

「仕事が見つからない」「社会に出るのが不安」「家賃が払えず家を追い出されそう」など様々な要因により生活に困窮している方々に対し、生活の立て直しを支援する仕組みとして、平成27年度から始まった新しい制度です。

相談受付や相談者の課題に応じた助言、専門の支援機関との連携、地域社会へのつながりなどを行い、相談者が安心・安定な生活が送れるように支援します。

自立相談支援事業

就職や住まい、家計管理などの困りごとや不安を抱えている方は、まず大月市社協の相談窓口にご相談ください。どのような支援が必要か、支援員と一緒に考えます。具体的なプランを作成し、寄り添いながら、自立に向けて支援します。



就労準備支援事業

「社会とのかかわりに不安がある」「ほかの人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

家計改善支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつながり、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援します。

●各種事業の問い合わせ先

大月市社会福祉協議会
 地域福祉担当
 TEL 0554-23-2001
 FAX 0554-22-2861



ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るいまわを社会を建設す
る姿」を表現しています。

2021年10月

<< 編集後記 >>

今年の夏は、なんといっても東京オリンピック・パラリンピックの開催ですね。開催期間中は「今日はどの競技をみようか？何時からこれを見て…」などと悩みながら、テレビに夢中になり、選手たちの活躍に感動する毎日でした。選手の皆さんのキラキラと輝いている姿や、パラリンピック女子ロードレースの金メダリスト杉浦佳子選手の「最年少記録は二度と作れないけど、最年長記録は作れます」という言葉に刺激を受け、私も何か体を動かすことを始めてみようかな…と思いました。

また、今夏は新型コロナウイルス感染者の急増により、大月市へのまん延防止等重点措置が適用され、市内公共施設の臨時休館や小中学校の分散登校など生活しづらい我慢の季節となりました。大月市社協三大行事のツキフェス・バザー・地域福祉推進大会もやむを得ず中止することが決定し、まだまだ先の見えない状況が続くことが予想されます。どうぞ皆さん、感染予防対策を徹底し乗り越えていきましょう。今号もお読みいただきありがとうございます。

(総務担当 安藤 史江)

くじらおか

みずき

鯨岡 瑞希 さん (25)

(富浜町)



おおつぎで頑張る若者 ③②

●現在の職業は？

メディアや子育てサロンでフリーのパーソナルトレーナーをしています。

●大月の好きなところは？

自然豊かなところです。

●今後の活動は？

運動を通して大月の方を健康で笑顔にしていきたいです！

大月で夢を叶える環境創りを目指し、地域創生×クリエイター育成を行っている「ローカルディスタンス」のメンバーの皆さんと知り合い刺激を受け、自分にも大月のために何かできることはないかと思うようになりました。メンバーの皆さんと一緒に大月市を盛り上げていきたいです。また、来年から令和にこにこ園にてキッズコーディネーショントレーニングを実施する予定です。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ホームページ：<http://www.otsuki-shakyo.jp/>

メールアドレス：fureai@otsuki-shakyo.jp